

喜界町図書館

図書館だより

〒891-6201喜界町大字赤連小字樋口前30番地

12月号



【通算 第222号】

2014(平成26)年12月21日発行

TEL: 0997-65-0962

FAX: 0997-65-2523

e-mail: kikailib@town.kikai.lg.jp



師走(しわす)って？

『師走』の由来は、「師馳(は)せ月(しはせづき)」で、昔はお正月にも先祖供養をしていたために師(お坊さん)が忙しく走り回っていたのが語源といわれていたり、12月は1年の最後で今年のうち

にやるべき事は、全部やりとげる月と言う意味で『為果つ(しはつ)』が元になっている、ともいわれ多くの説があり、定説というのはありません。

《喜界高等学校職場体験》

12月2日(火)～12月5日(金)
に、喜界高等学校の2年生の
北村大倭さん、中村健さん
直島瀬那さん、辰己月菜さん
の4名が職場体験に来ました。



毎月23日は、
子どもとひとしよに読書の日

「本は家族の一員です！」

貸出カードを作いませんか(無料)！

0歳児から発行できます。

○ 図書・紙芝居など 10冊

○ CD・DVD 2点 計 12点まで

☆ 貸出期間は15日間です。



お知らせ



12月29日(月)～1月3日(土)
年末年始のため休館します。

本の返却は、返却ポストに入れてください。

(1) 図書館カレンダー

※  は、休館日です。(毎週月曜日、第1木曜日)

・開館時間 午前10時～午後6時

日	月	火	水	木	金	土
12/28	12/29	12/30	12/31	1	2	3
年末年始休館						
4	5	6	7	8	9	10
	休館日			団体貸出 各幼稚園・保育園 早幼学童 お子育て支援		おはなし会
11	12	13	14	15	16	17
	休館日	移動図書館 早町小学 校1～3年	早町小学 校4～6年		子育て支 援来館日	おはなし会
18	19	20	21	22	23	24
	休館日					おはなし会
25	26	27	28	29	30	31
	休館日	特別整理期間のため休館(2/6まで)				
2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	2/6	2/7
特別整理期間のため休館(2/6まで)						おはなし会



おはなし会・ミニ映画

毎週土曜日 午後2時～2時40分

11月統計

(開館日数25日)

・貸出し冊数 H26年度合計
3,916冊 26,228冊

・来館者数 H26年度合計
1,415名 12,733名



《喜界島の歴史・伝承・伝説を探る》～12月号～

喜界島の謎・幻の時代(古代より中世・近世の時代)



城久遺跡群のおおよその特徴を挙げてみたい。

まず、遺跡群の特徴として、遺跡群全体で100棟以上の掘立柱建物跡が検出されていることである。特に、山田半田遺跡では直径約50cmのピット(穴・くぼみ)で構成され、復元面積が約50坪を測る大型の掘立柱建物跡と、その周囲に規格性の高い建物群が集中する地区がある。これらは、単なる住居や倉庫群とは異なる機能・性格が想起され、遺跡群の中でも特筆される存在である。またこの他に、復元される掘立柱建物跡の中で比較的大きなピット径のものが散見される。これらについては四本柱や六本柱などがあり、現存する高倉に共通する規格を有しており、高倉的な倉庫や櫓(やぐら)など、通常の掘立柱建物とは異なる機能が想定される。

次に、土坑墓が数多く検出されていることが挙げられる。葬法には火葬、土葬、もしくは土葬後火葬して再葬を行うおむね三つの累計を想定しているが、遺構のプラン(設計)と葬法にはいくつかの組み合わせがある。現時点で断定はできないが、時期差を想定できるほか被葬者の出自(出どころ・うまれ)など何らかの社会的背景を反映している可能性がある。

火葬墓については、円形プランと長方形プランがあり、須恵器(古墳時代後期から奈良・平安時代に行われた、大陸系技術による素焼きの土器。良質粘土で、成形にはろくろを使用、あな窯を使い高温の還元炎で焼くため暗青色を呈するのが一般。食器や貯蔵用の壺・甕が多く、祭器もある。)を埋納するものと、カムイヤキ、白磁、ガラス玉等を副葬するものがある。特に焼骨については、今のところ出土したカムイヤキの壺・鉢等に納められた例は確認されておらず傍らに方形ないし円形に集骨された状態で検出される例が多い。出土状況から判断する限り、焼骨は箱や袋などの容器に入れられて埋葬された可能性が高く、カムイヤキや白磁自体は蔵骨器(火葬した遺骨を収納・埋葬するための金銅・陶器の容器。)としてではなく、何らかの供献品(神仏等に供えさし上げる品)を納める容器等として副葬されていた可能性の方が高い。なお、須恵器を埋納した大ウフ遺跡出土例については調査中である。

文責(登山 典壽)

引用文献資料: 喜界島城久遺跡群の発掘調査

澄田直敏・野崎拓司

古代末期の境界世界～城久遺跡群と石江遺跡群を中心として～

ヨーゼフ・クライナー、吉成直樹、小口雅史 編

沖縄大百科事典 広辞苑



《おとなの本》

☆『親鸞』 完結編上・下 五木 寛之著 講談社
信心と家族愛の間でゆれ動く、親鸞の真の姿。20数年ぶりにもどった都では、陰謀が渦巻いていた。人間親鸞の生涯を描いた大河小説。

☆『田舎でロックンロール』 奥田英朗著 KADOKAWA
英米ロックが百花繚乱の様相を呈していた70年代。日本の片田舎に暮らすオクダ少年もその息吹を感じていた…。自身の洋楽青春期を綴る。

☆『女霊異記』 高樹のぶ子著 文藝春秋
奈良の薬師寺で働く明日香のもとには、数々の不思議が訪れる。事件を呼び寄せたのは、日本最古の説話集「日本霊異記」だった。古代と現代をつなぐ「霊異」ミステリー。

☆『死に支度』 瀬戸内寂聴著 講談社

☆『サラバ 上・下』 西 加奈子著 小学館

☆『みなそこ』 中脇 初枝著 新潮社

☆『アイヌの世界を旅する』 北原次郎太 監修 平凡社

☆『いと森の家』 東 直子著 ポプラ社

☆『冥の水底』 朱川 湊人著 講談社

☆『非正規大国』 ～日本の雇用と労働～
伍賀一道著 新日本出版社

《こどもの本》

☆『マララ』 マララ・ユスフザイ著 岩崎書店

女の子も学校に通う権利があると声をあげ続け、史上最年少でノーベル平和賞を受賞した少女マララの手記。

☆『あしたあさってしあさって』

もりやまみやこ著 小峰書店

遠くの町で仕事をしているお父さんが、しあさってに帰ってくる! 早くしあさってになあれ。

☆『いっしょにあそぼへん?』

岡田 よしたか作・絵 金の星社

夜、眠れないカスターネットは、ひとりで公園に出かけます。でも、ひとりで遊んでいても、あんまり楽しくありません。そこで…?

☆『ぼく、仮面ライダーになる! ドライブ編』
のぶみさく 講談社

☆『よいしょ 結果自然成』

坂川栄治 絵 榎野俊明 文 主婦の友社

☆『冒険恐竜館 まんが1』 伊東 章夫作 新日本出版社

☆『ゆうぐれ』 ユリ・シュルヴィツ作あすなろ書房

☆『日本にしかない生き物図鑑』

今泉忠明監修 PHP研究所

☆『どうぶつたいじゅうそくてい』 高島純絵 アリス館